

シグマ研究委員会・核構造崩壊核データ専門部会  
燃料サイクル核データワーキンググループ第8回会合議事録

日 時 昭和56年3月19日(木) 13:30 - 17:30  
場 所 原研本部第5会議室  
出席者 久武, 西村, 湯本(小泉代理), 桂川, 長部,  
田村, 猪川, 荒木, 梅沢 以上9名

配布資料(事前送付)

- 8-1 報告書表題と目次案
- 8-2 資源開発における核データの問題
- 8-3 ウラン濃縮における核データの問題
- 8-4 加工施設における保障措置と核データの必要性について
- 8-5 原子炉ドシメトリーと核データ
- 8-6 核燃料再処理と核データ
- 8-7 プルトニウム燃料加工と核データ
- 8-8 遮蔽解析における線源評価と核データ
- 8-9 アクチノイドの核燃焼と核データ
- 8-10 核データに対する要求の現状
- 8-11 結論と提言

議 題

- (1) 報告書ドラフト検討
- (2) その他

議 事

- 1. 資料8-10により, 西村委員から, これまでの燃料サイクルの諸分野

での核データの使われ方の検討を通じて出された問題を、核データの種類に従って分類し、問題点を整理した結果が報告され、討議された。現状のデータとしては、出来るだけ、現在の recommended values を記入してまとめることとされた。

2. 資料 8-11 について、梅沢委員より説明があり、検討の結果、表現上の若干の修正を行ったが内容は合意された。
3. 資料 8-2 から 8-9 までの内容については、全委員に 3 月末までにコメントを依頼中であるので、その結果を加えて編集することとされた。
4. 資料 8-1 により、報告書の構成および編集・発行方針が審議された。表題および目次が原案どおり合意されたほか、次の点が決定された。
  - (1) 第 1 章 緒言は久武委員、第 2 章 活動の概要は梅沢委員がそれぞれまとめる。
  - (2) 報告書は、先ず J A E R I - memo として印刷し、関係方の公開の承認を経た後 J A E R I - M として発表する。
  - (3) 各章の執筆担当者の氏名は、章の末尾に記す。
  - (4) 委員および協力者については、第 2 章の中で明記する。
5. 資料 8-4 の内容について、フッ化ウランから酸化物への転換プロセスの扱いについて、佐藤委員と連絡調整をはかることとなった。
6. 部会長・幹事から全委員および協力者のこれまでの協力に対し謝辞があり、56 年度については報告書をまとめ終るまで、なお引続き協力方要請された。上記 4 ( 2 ) と関連し、J A E R I - memo 作成後少くとも 1 回会合をもち、最終的検討を行うことを予定した。